

平成22年度第1回公立大学法人熊本県立大学理事会
議 事 録

日 時：平成22年6月24日（木）午後2時30分～午後4時30分

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出 席：理事長 蓑茂寿太郎
副理事長（学長） 古賀 実
理事（副学長） 半藤英明
理事（事務局長） 益田和弘
理事 横田 剛
監事 高木絹子
監事 千歳睦男

欠 席：なし

事務局：林田教務入試課長、馬場総務課長、高橋学生支援課長、阪本企画調整室長、枝國地域連携センター事務長、田中学術情報メディアセンター事務長、川上総務課総務班長、浅川総務課財務班長、林企画調整室主幹

1 辞令交付

蓑茂理事長から横田剛氏に理事の辞令交付（任期2年）

2 開会

3 理事長あいさつ

4 議題

(1) 審議事項

① 熊本県公立大学法人評価委員会へ提出する平成21年度業務実績報告書について

事務局から、資料1に基づき、「平成21年度は、法人化した平成18年度に入学した学生が卒業を迎える完成年度の年であったが、教育、研究、地域貢献、大学運営のいずれにおいても、年度計画を予定どおり実施できたと点検評価した」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成21年度決算について

事務局から、資料2に基づき、「財務諸表、決算報告書、事業報告書を基に監事及び会計監査人による監査を6月14日に受けた。平成21年度の当期未処分利益は77,658千円で、利益処分案として、これまで同様、教育研究等環境整備目的積立金への積立を提案している」との説明があった。

また、千歳監事から、監査結果について、資料2-5に基づき、「監査を行った結果、特に指摘する事項はなかった」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 教員採用に係る枠取りについて

古賀学長から、資料3に基づき、「文学部と環境共生学部からの2件の枠取り。文学部は日本近現代文学を専門分野とする准教授又は講師。環境共生学部は資源再生化学を専門分野とする教授又は准教授。共に平成23年4月1日の採用を予定している」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成23年度入学者選抜の実施方針について

事務局から、資料4に基づき、「学部入試については、平成23年度は、各選抜とも選抜方法、入学定員、募集人員は昨年度と同様。日程も昨年度に沿ったスケジュールで行う。大学院入試についても、選抜方法、募集人員は昨年度と同様。これまで環境共生学研究科博士後期課程だけが平日に実施していたが、社会人が受けやすいように土曜日に実施する。また、平成23年度入学者選抜から、本学卒業生の大学院入学時の入学金免除制度を導入する。オープンキャンパスは7月25日、8月1日に実施する」との報告があった。

② 平成22年度入学者の状況について

事務局から、資料5に基づき、「入学者の状況は、男性は31.9%で例年並み。県内出身者は76.5%で平成19年度以降最も低い割合となり、県外出身者がわずかだが増加傾向にある。定員充足率は全体としては109.8%であり、日本語日本文学科が最も高く、環境資源学科が最も低くなっている。九州外からの入学者は20名で6名増。熊本県を除く九州各県からの入学者は104名で17名増。福岡県からが10名増と伸びが大きい。逆に県内の入学者は25名の減。出身校別では、県内は第一高校が最も多く、県外では鹿児島県の高校が多い。大学院の入学状況については、全体の定員充足率は93.4%となっている」との報告があった。

③ 平成22年3月卒業生の就職等状況について

事務局から、資料6に基づき、「景気悪化の影響を受け、平成21年度卒業生の全体の就職率は、平成22年3月31日現在で88.2%となり、前年最終よりも約4%下回るという厳しい結果となっている。学部別では、文学部79.1%、環境共生学部84.0%、総合管理学部89.7%。業種別では、景気悪化により公務員志望の増加が目立っている。平成22年度新卒採用も厳しい状況が予想されており、求人紹介等必要なサポートをしていきたい」との報告があった。

④ 熊本県立大学特認教授の任用について

地域連携センターから、資料7に基づき、「元環境共生学部助教授であり、現非常勤講師の本田榮子氏を本学の食育プロジェクトリーダーの補佐役として、また、同プロジェクト推進業務を担当する地域連携センター食環境研究情報室の室長として、教育研究会議及び経営会議の審議を経て特任教授に任命した」との報告があった。

⑤ 熊本県立大学同窓会紫苑会から熊本県立大学未来基金への寄附金の贈呈及び「熊本県立大学同窓会紫苑会奨学金」の創設について

事務局から、「熊本県立大学同窓会紫苑会から、同会の設立60周年記念及び奨学金として、熊本県立大学未来基金へ総額3千万円のご寄附の申し出があり、去る4月25日に同会の本田榮子会長から蓑茂理事長に目録の贈呈が行われた。

本学では、贈呈いただいたご寄附を教育研究環境の充実並びに有為な人材の育成のために有効に活用させていただくこととし、奨学金としての寄附金については、熊本県立大学奨学金の一種として新たに「同窓会紫苑会奨学金」を創設し、本学独自の奨学金の充実を図ることとした。なお、この奨学金の創設により、本学独自の奨学金は、学業奨励奨学金、くまもと夢実現奨学金、同窓会紫苑会奨学金、西部電気工業奨学金の4つとなった」との報告があった。

5 その他

次回理事会は、平成22年10月27日（水）経営会議終了後に開催することを確認した。

6 閉会

以上